

## ◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課  
〒311-3192  
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080  
☎ 029-292-1111  
メールアドレス  
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

## ◆人口

住民基本台帳  
平成30年7月末現在  
男 16,538人  
女 16,378人  
総人口 32,916人  
世帯数 13,192世帯

## ◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

## ◆町の情報発信中!!



## ◆町公式ホームページ

<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



## ◆町公式ツイッター

<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



## ◆町公式Instagram

[https://www.instagram.com/townibaraki\\_official/](https://www.instagram.com/townibaraki_official/)



## 里山に育む生きものたち

### No.73 オオミズアオ

(ヤママユガ科)

旧学名 *Actias artemis* (Bremer & Grey, 1853)

学名 *Actias aliana* (Butler, 1879)

写真・文 小菅 次男

湖沼自然公園で実施した夜の昆虫観察会には、この美しいオオミズアオが灯りの中に姿を現してくれました。

#### ▼大型の美しい蛾

大型の青白色をした蛾で、成虫の前翅長は8〜12cmほどです。前翅は三角形にとがり、後翅は後方に伸びる尾状突起となっています。前翅の前縁は褐色になり、前翅と後翅にはそれぞれ中央に丸い斑紋が1個ずつあります。触角は櫛歯状で、オスでははっきりとよく発達しています。

日本全土、朝鮮、中国北部、シベリアなどに分布しています。

#### ▼多様な食性

出現期は4〜8月で、初夏と夏の2回発生し、蛹で

越冬します。幼虫は緑色のイモムシで、節ごとに毛の束が少し出ています。モミジ、ウメ、サクラ、リンゴなどのバラ科のほかブナ科、カバノキ科などの多くの樹木の葉を食べます。

このように多様な食性を持つているので、比較的多くの場所で見ることが出来ます。都市部の公園や街路樹などでも発生し、街灯などに飛来しているのを見かけることがあります。

#### ▼学名にギリシャ神話

月夜の晩に、灯火に飛来して舞う姿の美しさは、まさにギリシャ神話に出てくる「アルテミス」(月の女神)と呼ぶのにふさわしいというので、この名が旧学名に使われていました。

夜の観察会でヒスイ色の美しい姿の本種が飛来

#### ▼幼虫の妙技

すると、子どもたちから歓声が上がります。ところが、あまりにも青ざめた美しさなので、気味悪く思う人もいて、一名を「ユウガオビョウタン」と呼び、日本的幽霊の相があるとも言われています。

幼虫は自分の口の届かないところに葉があると、その葉に繋がる根元の部分を食べて、茎を折り、口が届くようにして食べるという妙技を会得しています。

一方、成虫は体がもこもこの毛で覆われ丈夫そうですが、実は口が退化して、物を食べたり飲んだりすることが出来ず、寿命は一週間ほどとはかない命なのです。

## ちびっ子アート 長岡幼稚園



「おみこしワッショイ」  
ふじえだ ほかせ (6歳)



「楽しかったなつまつり」  
きくち ひな (6歳)